

# 今月のkaizen



かいぜん、  
いいね！

改善者：薬局(神山 海太郎)  
連携部署：

## ☆改善テーマ☆



これい~わ (令和)

～ 転倒・ふらつきを「見える化」で防止～



## ☆原因や問題☆

転倒転落対策プロジェクトチームにおいて転倒転落アセスメントシートの見直しを行うことになり、薬も転倒転落の原因となるので「**原因となる採用薬の見える化**」を検討することにした。



服用薬の影響

### ①転倒の危険性が高まる薬

睡眠薬等 → 眠気、ふらつき、めまい  
筋弛緩薬等 → 脱力、筋緊張低下



### ②転倒時に注意が必要な薬

副腎皮質ステロイド → 長期服用で骨粗鬆症の危険性が高まる  
抗凝固薬 → 服用で出血のリスクが高まる

## ☆対策や方法☆

「転倒・ふらつき」を引き起こす当院採用薬品（265品目）をリストアップし、「見える化」による転倒転落の防止の取組みを行った。

1. 薬袋・分包紙・お薬手帳シールの医薬品名の頭に「**転：**」を印字した。
2. 薬袋には、赤文字で「**転：転倒注意薬**」を印字した。
3. 「転倒・ふらつき」の主な原因薬品のリストを2種類作成し、院内へ配布した。  
①薬効分類別リスト ②医薬品名の五十音順リスト
4. 地域の関係施設「病院・医院・薬局」へ、上記の取組み内容をお知らせした。

《印字例》

お薬手帳シール

分包紙

薬袋



薬品名/用法 転：クエチアピン錠12.5mg 朝食後
転：タリオンOD錠10mg 朝食後
転：カロナール錠200 朝食後
転：ファモチジンOD錠20mg 朝食後
転：ウインタミン細粒(10%) 朝食後

六日市 太郎 様
朝食後
12/19 水
*転：クエチアピン錠12.5mg 1
*転：タリオンOD錠10mg 1
*転：カロナール錠200 1
*転：ファモチジンOD錠20mg 1

転：転倒注意薬
転：クエチアピン錠12.5mg「アリル」 1錠
転：カロナール錠200 200mg 1錠
転：ウインタミン細粒(10%) 0.1g

## ☆効果☆

今回の「**見える化**」の改善が転倒転落防止の一助となることを期待している。

1. 意識の高揚・知識の向上  
「見える化」で記憶に頼らず・分かり易く危険予知が出来、アセスメントシート作成ははじめ日常業務で役立てることが出来る。
2. 地域連携の強化  
地域の関係施設（病院・医院・施設・薬局）でも**情報を共有**し、転倒転落の防止に役立てることが出来る。